

校長室だより No 6

土小ボランティアバンク

2022年5月24日 柏市立土小学校 校長 梅津 健志

学校だより百年桜にて、ボランティアバンクの募集を始めました。その意図について説明したいと思います。今までは、学習に関わるボランティアは各学年の担任から呼び掛けて募集し、PTAからは清掃などのボランティアを募集するといった形で、学校の教育活動や支援に保護者の皆様や地域の皆様のお力を借りてきました。

ボランティアについても、その都度募集する形から、少しでも手伝えるという方々に事前登録をしておいていただき、お子さんの学年などに関わりなく、できる時にできる方に支援をしていただけるような体制にして、ボランティア関係のマネジメントを学校の先生から学校運営協議会へと移行していこうと考えております。コミュニティー・スクールが動き出した数年後には、様々なボランティアグループが活動し、そこに新たに登録された方々が加わっていくような形に発展させたいと考えています。その第一歩としてバンクへの登録をお願いしているところです。是非、年間1回だけでも参加できる分野があれば、そこに登録をお願いします。登録をしたから何かを行うことが強制されることはありません。「できる時にできることを」をモットーに進めていきたいと考えています。そして、ボランティアは単なる支援に留まらず、そこに人のつながりが生まれたり、大人同士の学びが生まれたり、学校を核とした土地域の新しいつながりが創られることを描いています。

ボランティアと言えば、土小学校は学校図書館の整理や読み聞かせのボランティア活動が、柏市内の小学校で最も早く始まった学校だと記憶しています。約四半世紀前の創立100年の頃には、3教室を一体化した図書館があり、そこで活動するボランティアの皆さんがいたことを隣の中原小で担任をしながら羨ましく思ったことを思い出します。今も、お子さんが卒業してもボランティア活動に関わってくださっている方々が多くいらっしゃることは、子供の学びを支援するボランティアを通じて、人のつながりやご自身の学びや楽しみが広がっているのだと思います。これはまさにコミュニティー・スクールが目指す姿でもあります。私は、指導主事時代の平成16年に学校図書館の充実のために良い本を購入できるよう、本屋さんに協力をお願いして新刊展示会を立ち上げました。今年も沼南近隣センターひまわりプラザで行っています。コロナ禍で事前予約制ですが、25日と26日にはまだ空きがあるようです。<https://www.trc.co.jp/bookfair/schedule.php?ssn=spring> からアクセスしてみてください。絵本から図鑑まで例年5000冊以上の本が展示されています。子供の本に興味がある方は、楽しい空間です。ボランティアの方からの推薦の本を購入することも、これからの学校ではアリになりますね。